

地方競馬の開催は中央競馬での本命-大穴バイアスを弱めるか

中野 智耀
指導教員 草川 孝夫

研究背景

「本命-大穴バイアス」とは、同じ金額をかけた時の平均回収額が大穴馬券よりも本命馬券のほうが高くなる現象を指す。人々は大穴に賭けがちであるため、実際に勝つ確率が低いわりにオッズが十分に高くないことが原因である。Thaler and Ziemba (1988) は、本命-大穴バイアスは、一日の最後の数レースでより顕著になる傾向があることを示した。日本の中央競馬においても同様の傾向が観察されるか検証した研究はあるが、中央競馬の最終レースが、地方競馬を含めたその日の最終レースになるとは限らないので、地方競馬の開催の有無を考慮に入れた検証が必要である。

研究目的

中央競馬の最終レース後の地方競馬の開催の有無が、中央競馬の本命-大穴バイアスに影響を与えているのかを検証する。

研究方法

中央競馬の最終レース後に開催される地方競馬場の数ごとに、中央競馬での本命-大穴バイアスを計測する。

分析結果

回帰分析の結果、中央競馬の最終レース後に開催される地方競馬場の数は、中央競馬での本命-大穴バイアスに、統計的に有意な影響を与えなかった。

考察・結論

「本命-大穴バイアス」が、中央競馬の最終レース後に開催される地方競馬場の数の影響を受けるのか否かは判明しなかった。